

市政に 対する 一般質問

12名の議員が質問

6月定例会の一般質問は、6月17日・18日の2日間にわたり行われました。質問の要旨は次のとおりです。

伊藤 勝美	新型コロナウイルス感染症対策等について	他
角張 一郎	小中学校の統合・再編について	他
松野 久郎	おくやみ手続き一本化について	他
大野 栄光	公立刈田総合病院について	他
佐藤 秀行	福岡歩道橋について	他
高子 秀明	新型コロナウイルス感染症の状況下における本市の災害時避難所対策について	他
高橋 鈍斎	第一幼稚園休園凍結問題、その後について	他
菊地 忠久	子どもの安心安全について	他
佐藤 龍彦	コロナ禍での本市の教育について	他
四竈 英夫	新型コロナウイルス対策について	他
大森 貴之	夏季休業中のプールについて	他
佐久間儀郎	新型コロナウイルス感染症予防と災害時の避難所について	他

新型コロナウイルス感染症対策等 について



伊藤 勝美

〔質問〕感染症の第2波、第3波が予想されていることから、実施できる対策を速やかに講じる必要があるが、また、今後の施策展開においても、経済、教育、福祉や子育てなどのあらゆる面で影響が大きく出てくると考えられる。

この感染症により中止・休止となったイベント・事業における不用品となった額を伺う。

〔答弁〕〔財政課長〕現時点で把握している一般財源の不用額は、約1千800万円と見込んでいる。

〔質問〕市民の生活を優先するため、不要不急の事業を延期する検討はされているのか。また、経済支援など

の財源確保のため、今年度の全事業を精査し、延期・中止する事業の予算の組み替えが必要と考えるが、いかがか。

〔答弁〕〔市長〕中止・休止が決定した事業以外で不要不急の事業は現時点ではないと認識していることから、全庁的な検討は行っていない。

〔質問〕感染症対策で市の財政が厳しさを増す中、今後の財政見通しの予測を伺う。

〔答弁〕〔市長〕各施設各種使用料の減収による歳入の減、指定管理者に係る歳出の増などの要因が考えられ、財政は厳しさを増すものと考えている。

また、経済が冷え込んでいる現状では、自主財源の減少も懸念され、非常に厳しい来年度の予算編成になるものと

認識している。

〔質問〕市内の医療機関の状況はどのように把握されているのか。地域医療を守るための財政支援を国に求めるべきと考えるが、見解を伺う。

〔答弁〕〔市長〕外出自粛要請や感染警戒で受診者が控えられ、全国的に外来受診者が減っていることは承知しているが、市内医療機関の経営状況については、相談などは受けていないことから把握はしていない。

財政支援策については、国の責任において早急に打ち出していたたくことを市長会を通して国に働きかけていく考えである。

その他の質問

◎山田市政1期4年間の総括について

◎公立刈田総合病院について